

あなやま

社会福祉法人 信和会

〒407-0263

山梨県韮崎市穴山町 5164

TEL 0551-25-6100

FAX 0551-25-6103

<http://www.sip-shinwakai.jp>

編集責任者 栗原 信



春を告げる

～3月・2年ぶりの芝焼きと梅花〈穴山の杜〉～

『地域と社会福祉』



社会福祉法人信和会 評議員

土屋 直己

社会福祉法人信和会の評議員に、地域の代表として仰せつかり2年が過ぎようとしております。福祉関係について、何の知識、経験もありませんが、これまでの信和会が行う諸事業、活動について、地域で接していた立場として、評議会等にてご意見をさせていただいております。

私は縁あって、10年程前穴山町に新居を構え、ある意味穴山町に移住してきました。当時のことを思い出すと、土地の取得から建築、生活も含め、地域の皆さまに支えていただきました。特に昨年ご逝去された栗原信雄会長には、日常的に気に掛けていただきました。子ども達を含め家族が、失礼ながら「会長、会長」と呼び出す中で、何でも相談に乗っていただき、笑顔をもって接してくださいました。その姿を思い出すと寂しい限りではありますが、大変感謝もしております。

私は、令和3年度より評議員会へ参加しております。当時より、会議等は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、書面での会議開催が余儀なくされていたこともあり、中々顔を合わせての会議とならず、信和会の事業内容、取組みなど、まだまだ勉強不足などがあります。そんな中ではありますが、これまでの評議員会で最も印象に残り、又多くの皆さまに知っていただきたいこととして、穴山の里施設内で発生した「新型コロナウイルスのクラスターの報告」があります。

穴山の里施設内で、新型コロナウイルスのクラスターが発生し、当時は、新型コロナウイルスへの理解が進まず、とすれば、信和会の全施設、関係者が批判を受けそうな状況下、理事長を始め職員、施設利用者の皆さんが、いつ終わるもわからないクラスター収束に向け、施設全体が一丸となって現場、支援施設、報道等への様々な対応など、実際に起こった詳細な内容の報告を受け、改めて感染症の怖さを知るとともに、この誰も経験したことのない壮絶な状況を克服した皆さまに、胸を打たれたところです。

施設の特異性から、クラスターの発生後すぐに県立中央病院の「災害派遣医療チーム(DMAT)」が派遣され、また、職員、施設利用者などのカウンセリングのため「災害派遣精神医療チーム」や、職員不足を解消するために「知的障がい者支援協会」から人員派遣など、

危機的な状況下にあったことがすぐ理解できました。DMATと聞くと、東日本大震災や台風災害へなど大規模な自然災害への対応する、現場に病院を構築する緊急的なチームと聞いています。これまで、施設への派遣はあまり聞いたことがなく、約1ヶ月間にわたりこれらチームが構築されていたことは、現場は大変な状況下であったと思います。県立中央病院では、新型コロナウイルスクラスター発生の福祉施設等での対応を、大規模な自然災害と同様に新たに「感染症災害」としており、県立中央病院では、今回の対応を県下クラスターの取組み事例として発表しています。(その時の状況は、県立中央病院の動画より閲覧可能です。下記動画URL参照) 評議員への報告では、職員が一丸となることができたこととまとめましたが、各機関の支援はありつつも、大きなパニックも起こさず、クラスター収束に向け「感染症災害」を克服したことは、今後も含め施設全体の信頼と、職員、施設利用者の皆さまの大きな力になったと感じたところです。

私は仕事柄、地域と接することが多く、地域の課題が多様化していることを感じております。各地域は少子化、核家族化による担い手不足、空き家、地域も見守る組、区のあり方等々、これから先、地域自らが今後どうしていくか考える時期に直面しています。災害発生時には、特に地域の結び付き、関わりが重要とも言われてもおります。これまでの信和会の地域での活動や、地域への貢献、そして今回の「感染症災害」を経験、克服した力は、地域の未来に繋がるものと感じています。

全国的に見ても、コロナ禍以降、社会福祉施設の廃業や慢性的な人材不足など多くの問題を抱えている様です。いずれ誰にでも訪れる、介護、老人医療です。地域と社会福祉施設が共存し、共に発展していくことがこれまででも、これからも重要と考え、私も微力ながら関わり続けていきたいと思っております。

山梨県立中央病院

「第50回県民に伝えたい医療最前線」

https://www.youtube.com/watch?v=3XlNg8_8Tk

動画内15分～26分

本部だより

社会福祉法人 信和会 法人本部
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390
Tel.0551-25-6100
E-mail: honbu@sip-shinwakai.jp



理事会・評議員会報告

- 開催日時 : 【理事会・評議員会】
令和5年3月25日(土) 10:00～
- 開催場所 : 穴山の杜 研修室
- 審議事項 : 第1号議案 令和4年度第2次補正予算について
第2号議案 令和5年度事業計画について
第3号議案 令和5年度予算について
第4号議案 諸規定の変更及び事業活動について



令和4年度第3回の理事会・評議員会は、対面にて開催することができました。

ご提案した議案についてご承認いただきました。令和5年度予算の概要について、活動収入は新規建設のGHの事業費増等で増収しておりますが、人件費の増額や物価高騰による影響で事業費、事務費等支出が上回り収支としては前年比約24ポイントのマイナスとなりました。全体収支金額として確保はしております。収入については各事業所の施策を積極的に推進し、支出については、人件費など職員への待遇改善を図りながら経費の削減に努めてまいります。

日中サービス支援型グループホーム新築工事 地鎮祭行いました！

令和5年3月25日 日中サービス支援型グループホーム新築工事の地鎮祭を関係各位のご出席をいただき執り行いました。

工事の安全を祈願し、令和5年11月開所を目指し進めて参ります。工事期間中は、近隣の皆様方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが何とぞ御理解、御協力のほどよろしくお願い申し上げます。



令和5年度 辞令交付式を行いました。

令和5年度辞令交付式が新規採用者3名を迎え挙行致しました。理事長より採用者・昇格者一人一人に辞令が交付され身の引き締まる思いを感じることが出来ました。新入職員を代表して萩原悠太さんが決意を表明し、社会人として、信和会の一員としてのスタートを切りました。また、同時に開催された勤続表彰では7名の職員に永年に渡り勤務されたご苦労と感謝を込めて賞状並びに記念品の贈呈を行いました。受賞されました皆さんおめでとうございます。



穴山の里

障害者支援施設 穴山の里
〒407-0263 韮崎市穴山町 5164
Tel.0551-25-5900
E-mail : sato@sip-shinwakai.jp

例年より早く満開を迎えた穴山町の桜ですが、コロナウイルス感染のため自粛していた方々が、自粛解除により桜を見るために多くの方が見学に訪れてくれました。さて、「新年度」がいよいよ本格開始となりました。「昨日」と「今日」、たった1日しか変わらないのに、なぜか清新な気持ちになれるのが、「節目」の不思議な力だな、といつも思います。穴山の里も新しい日常に向けて、積極的に行動を起こしていきたいと思います。

栗原 信

今年度の方針

ウイズコロナの時を迎えて、今年度は、規制された暮らしから、自由度の高い暮らしへの転換を図っていきます。「ノーマリゼーション」の意識を職員が強く持って、施設の暮らしを、普通の暮らしに近づける努力をしていきます。利用者一人ひとりに真摯に向き合って、利用者の望みや、楽しみを叶える個別支援計画の達成を目指します。傷んだ居室のリフォームや畳替え等を行い、潤いのある居住環境をつくります。日中活動においては、理学療法士をお招きして、リハビリテーション実施計画書を作成していただき、それに基づいた機能訓練を提供いたします。また、樹木粉碎機を新規購入し、不要な竹をチップや粉にして有効活用する取り組みを始めます。利用者の活動の幅を広げると共に、将来的には放置竹林の整備といった、地域貢献事業につなげていきたいと考えています。更には年間を通じて創作活動を行い、みんなが協力して一つの作品をつくっていきます。利用者個々の特性に応じて作業を受け持ち、完成の喜びを感じてもらいたいと思います。ゆくゆくは作品を地域の皆様にご披露出来たら、なんて夢を抱いています。この新たな取り組みは、随時この「あなやま」紙上で紹介をしていきますので、よろしく応援のほどお願い申し上げます。

米川 崇

さくら祭り 開催

3年ぶりのさくら祭りが開催されました。穴山観光小唄の踊りを朝礼で練習し今か今かと心待ちにしていました。実際会場へ訪れると屋台や出し物に目が輝いていました。



ほのほの班で植えた球根が
この春、綺麗な花を咲かせました。
色とりどりのチューリップ花が歌のように
咲き誇り綺麗で、ほのほの班の利用者も
嬉しそうに毎日作業棟の庭をみていま
す。



春爛漫

鷲宮神社に新たに展望台が出来たとの事で散策に行ってきました。展望台までは坂道を上る為大変でしたが、展望台から見降ろす桜と富士山は綺麗で上った甲斐がありました。



植樹した苗木が大きくなるとより多くの桜や紅葉も見られるとの事で今からがとても楽しみです。



わ〜く 穴山の里

多機能型事業所 わ〜く穴山の里
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1
TEL : 0551-25-5866
E-mail : work@sip-shinwakai.jp

金賞受賞



山梨県福祉保健部障害福祉課主催

「令和4年度やまなし工賃向上アワード」において、工賃向上に向けた職員の取り組みを評価していただき、金賞を受賞いたしました。



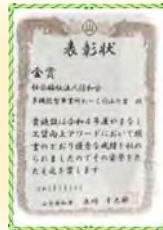
評価ポイント

作業工程を効率よく細分化し作業ごとの段取りを見直すとともに、利用者1人ひとりの得意なことと苦手なことを作業データから分析して配置場所や人の組み合わせに活かすことで生産性が高まり、工賃向上に繋がった。

～ 3月24日 山梨県庁にて表彰式が行われました ～



長崎知事より
激励の言葉と
賞状を頂きました



今回の受賞は、わ〜く穴山の里に関わるたくさんの皆様方と一緒にいただきました。感謝しております。今回の受賞をスタートとし、これからも多くの皆様と共に前に進んでまいります。

わ〜くの新メンバー！ステキな笑顔のI・Aさんです。よろしくね！



共同生活事業所

共同生活事業所 (わ〜く穴山の里内)
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1
TEL : 0551-25-5866
E-mail: kyoudou@sip-shinwakai.jp



新年度が始まり、新しい世話人・職員が加わりました。新しいスタートを切り、利用者たちはそれぞれの目標に向け走り出しております。

本年度も感染対策に留意しながら、毎日を明るく・健康に過ごしていけるように、努めていきたいと思っております。



●バイクング●

世話人・職員と一緒に、「すたみな次郎」風のバイクングをグループホーム内で行いました。コロナ禍で外出に行くことが出来なかったため、とても喜んでいました!!!! 普段の食事とは一味違ったメニュー・デザート。箸も止めず、おいしそうに食べていました。

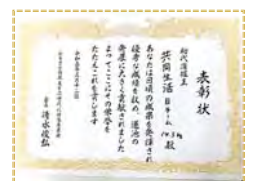


●蓮池の作業●

地域の方々と一緒に、町内の大賀ハスの土壌をきれいにしたり、新しい根茎を植えたりとお手伝いをしました。

初めての作業に、戸惑いながらも、教わりながら楽しく参加させていただきました。

また、イベントで【初代ガマ堀王】の栄冠までいただき、嬉しそうでした。



●人おっこアート展●

利用者の作品が、県立美術館に展示されました!!!!

1年間に作った、たくさんの作品の中から厳選された数点が展示されました。作品を見ながら、製作意欲が出てきた利用者。「次はこんな感じの作りたい」と、話をしていました。早くも構想を練り始めています。



穴山の杜

特別養護老人ホーム穴山の杜
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390
TEL0551-25-6100
E-mail : mori@sip-shinwakai.jp

“春眠暁を覚えず”の言葉通りなかなか床から離れられない日々があつたりしますが、入居者のご家族の皆さま如何お過ごしですか。施設周辺の桜も例年になく早い開花で楽しんでいると、あつという間に花びらが散り始めまさしく桜吹雪の様相です。季節は瞬く間に変わりたちまち初夏に向かう気配です。ここ数年はコロナ、コロナで明け暮れました。少しずつ普段の生活を取り戻しつつありますが、重症化リスクの高い高齢者施設での自由な面会は今しばらく先になりそうです。新しい年度を迎え、心新たな気持ちで業務を推進すべく職員一同頑張りますのでご指導、ご叱責お願いいたします。



「その人らしく」生活が送れるように… 介護支援専門員 河内摩衣

「3月からケアマネとなりました、河内です」とご挨拶をすると、ご家族から「今までを知っている人で良かったです」と言っていたことが多く、とても嬉しく有難く思っています。

施設でのケアマネージャーは、ご本人がこれからどんな生活がしたいかを聞いたり、想像をしたりして、それが出来るようになるには、どのような支援をしていくかを各部署と協力して考え、計画を立てる仕事です。なかなかお話が伺えない入居者の方だと、ご家族に伺う事も多くあります。その前段階で、ご本人がどのようなお人柄なのか、趣味や好きな事は？嫌いな事は？等々も知りたいところなのです。そういう情報も把握しつつ、一人ひとりが「その人らしく」生活が送れるようにしていく、そんなお手伝いをさせて頂きたいと思っています。

このような事は、どんな人にどんな雰囲気でお話をしたいですか？やはり顔なじみになってリラックスした雰囲気が良いですね。陽気が良くなり始めたので、ゆっくりとコーヒー飲んでおしゃべりをしつつ、聞けたら良いなと思っているこの頃です。

毎月の施設サービス担当者会議へのご協力ありがとうございます。ご家族のお話もたくさん伺いたいところですが、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

口腔ケア研修

看護師 手塚理恵



3月23日あけの歯科の医師・歯科衛生士による研修が開催されました。歯磨きは生活する中で毎日欠かさず行う生活習慣の一つです。入居されている方は自分で歯磨きが行えないことが多く、職員が介助しなければなりません、理解してもらえない事や拒否されてしまうなど思うように出来ないことがあります。今回の研修では、まず認知症を理解することから始まり、口腔ケアの対応例といったポイントをおさえた内容であったため、現場で即実践できるものでした。

口腔ケアを含め歯磨きをすることは、口腔への刺激が脳を活性化する重要なポイントであり、認知症ケアでもあることを痛感しました。研修で学んだことを現場で活かしていきたいと思ひます。

桃の節句

3月3日にはちらし寿司や桃ゼリー、4月3日は菜の花の太巻き寿司や春野菜の炊き合わせなどのお昼ご飯で桃の節句をお祝ひしました。1階フロアに飾られた8段のひな飾りをご覧になり「立派だね！飾るのは大変だったね」と喜ばれ、笑顔で記念撮影もされました。



亀3丁目の利用者が、1階喫茶コーナーにておやつタイムを過ごされました。この日のおやつはチョコレートケーキ！芝生の向こうに見える満開の桜はチラリ？おやつはペロリ♪

寒い日が少なくなってきた為、お花見を楽しめるようになってきました。「あっちを向けば桜、こっちを向いても桜があるじゃん」「綺麗ね～」「私の部屋からも綺麗に見えるよ」と会話が止まらない様子でした！



穴山の杜短期

穴山の杜 短期入所生活介護事業所
〒407-0263 韮崎市穴山町 4410-3
Tel : 0551-25-0800

1年を振り返り・・・

介護リーダー 佐野千津香

令和4年度が終了致しました。新しい業務を任せられ不安な毎日を送りながらも、分からないことばかりで“今やるべきことをやらなければ”と夢中でした。知識経験のある職員や法人職員に指導してもらいながら取り組んで参りました。現場、事務業務を両立するには全職員のご理解とご協力がなければ成し遂げることは困難であり、それがあったからこそ頑張ることができました。支えていただいた皆さまには感謝しています。

今年度も新施設長を迎え新体制としてスタートしました。この1年で学んだことを活かし、働きやすい職場を作り上げ、利用者の皆様により良い介護・サービスを提供して参ります。全職員で当事業所を盛り上げていきたいと思ひます。



開所祝い

春の気配もようやく整い心浮き立つ今日、施設は8年目を迎えました。豊かな自然環境に恵まれ、木質感を大切にした温もりを感じる雰囲気の中で、職員1人1人が安全・安心に、また誠実に思いやりを込めたサービスケアに取り組んできました。4月1日には開所記念としてお昼に赤飯の祝い弁当、午後には抹茶を点ててお茶会をし、皆で施設の誕生日を祝いました。利用者の皆様からも「おめでとうございます」と嬉しい言葉を頂き、終始お祝いムードな一日となりました。



園芸作業

花が大好きな利用者の皆様と、プランターに花を植えました。花の品種はリクエストを聞き、準備しました。それぞれ担当を決めて共同作業で行いましたが、花の色やバランスなど会話も弾み、中には久しぶりの土の匂いや感触に感激されている利用者の方もいらっしゃいました。今度は、野菜作りにも挑戦してみたいという意見もあり、計画準備中です。完成したプランターはベランダや玄関に飾り、目で楽しみ心でも癒されています。



2月14日バレンタインデーにホットケーキを作成しました。イベントは聞き慣れなくとも甘あ〜い香りに、利用者の皆様もホールに集まり賑やかな雰囲気・・・。チョコや苺の飾り付けは女性を中心に頑張り、“愛情たっぷりホットケーキ”の完成に大満足されていました！！



お楽しみ給食・おやつレク

3月8日昼食に海鮮ちらしを提供しました。常に嗜好調査でも人気ナンバー1の海鮮には、利用者の皆様も楽しみにされていたようで、「食欲が増すね!」「美味しいね!」と終始にこやかで、完食されました。今後はちゃんこ鍋やうどん作りなどの案もあり、食事を楽しんでいただけるよう今後も頑張っていきたいと思ひます。



～オープンカフェ～

施設ご自慢のベランダには、残雪の甲斐駒を背景に、美しい桜や菜の花の風景が広がっています。春の日差しが心地良い日には、喫茶を楽しまれる利用者の方も多く、「新鮮な空気と素晴らしい景色の下で飲むコーヒーは味も格別だねえ～」と笑みもこぼれ、会話も弾みました。



感謝録

(令和5年1月1日から令和5年3月31日)

～ご寄付を頂きました～ (敬称略)

ありがとうございました。感謝いたします。

佐々木道子・仲二見金男・大河原典子・宮本美千代・
中野はる・

～ご協力を頂きました～ (敬称略)

☆ボランティア

永井萬喜子・生山澄江・平賀 凛・猪股茜音・堀井香菜子

訪問録

(令和5年1月1日から令和5年3月31日)

☆教育実習・職場実習 (敬称略)

◎山梨学院短期大学

池田有沙・辻 陽花

◎帝京学園短期大学

坂田佳乃子・長嶋心花

新 社 会 人 の 抱 負



穴山の杜：介護員
萩原悠太 (北杜高等学校卒)

私は社会人一年目として、より多くのことを学んでいきたいです。研修の時、学校では習わなかった事だらけで自分の未熟さを痛感しました。少しでも早く職場の先輩方に追いつけるよう頑張っていきたいです。そのために「聴く」と「理解する」を意識したいと思います。分からなかった事や疑問に思った事はすぐに聴き、教えていただいた事は意味をしっかりと理解する事で自分の成長につなげていきたいです。まだ不慣れなところもあり、上手いかわない事も多々あるかと思っています。それでも諦めず目の前の壁にチャレンジしていきます。3年後には介護福祉士の受験資格を得られるので、それまでに成長し立派な介護福祉士を目指します。何があってもその信念を曲げず、前向きに頑張ります。信和会の一員として精一杯頑張りますので、これから宜しく御願いたします。



穴山の里：生活支援員
平澤由衣 (中央高等学校卒)

学生時代から人にかかわる仕事に就きたいと思い、この春から生活支援員として働けることに大変うれしく思っています。まだまだ未熟で支援や介護のことは勉強中でわからないことばかりですが、先輩方を頼りに一日でも早く仕事に慣れ社会に役立つ人になるよう努力いたします。日々笑顔を忘れず明るく元気に利用者と関わり一日一日を大切に楽しく過ごしていきます。たくさんの事を経験し、数年後自分を振り返った時、大きく成長できたと思える日々が重なるよう知識も技術もまだまだですが頑張りますのでよろしく御願いたします。

新採用職員研修



信和会では、新採用職員に対して採用者研修を開催しています。

学卒者は新社会人として初めての仕事となります。就業規則をはじめとする各種規程や社会保険制度、社会人としてのマナーなどを学びました。既に社会経験がある職員も法人内の規程を理解して頂くと共に最新の基準などを改めて認識して頂きました。理事長講話、自己紹介、報連相やブレストなど実践をともなった研修に戸惑いも見られましたが、真剣なまなざしは今後の活躍を大いに期待できる事と実感させて頂きました。

<文責 山下>



編集後記

機関誌の編集後記を書くにあたり、制作する過程で感じたことや学んだことを共有したいと思います。

まず、多くの執筆者からの素晴らしい原稿を受け取り、それらを慎重に編集しました。それぞれの記事は、興味深く、読みやすく、そして意義深いテーマを扱っていました。原稿を書くことは時間がかかるものであり、デッドラインに間に合わせるためには、多大な労力が必要であることも認識しています。また、編集作業自体も原稿を慎重に読み、適切な修正や推敲を加えることで、記事の質を高めることができました。それぞれの原稿に個性や特徴があるため、それぞれの記事に適切なアプローチをとり、バランスをとる必要がありました。最後に、この機関誌を読んでくださる読者の皆様に感謝の気持ちを伝え、読者の皆様がこの号を読んで、何か新しい発見や学びが得られることを願っています。今後とも、より良い機関誌を制作していくために、引き続き努力していきたいと思っています。

(山下)